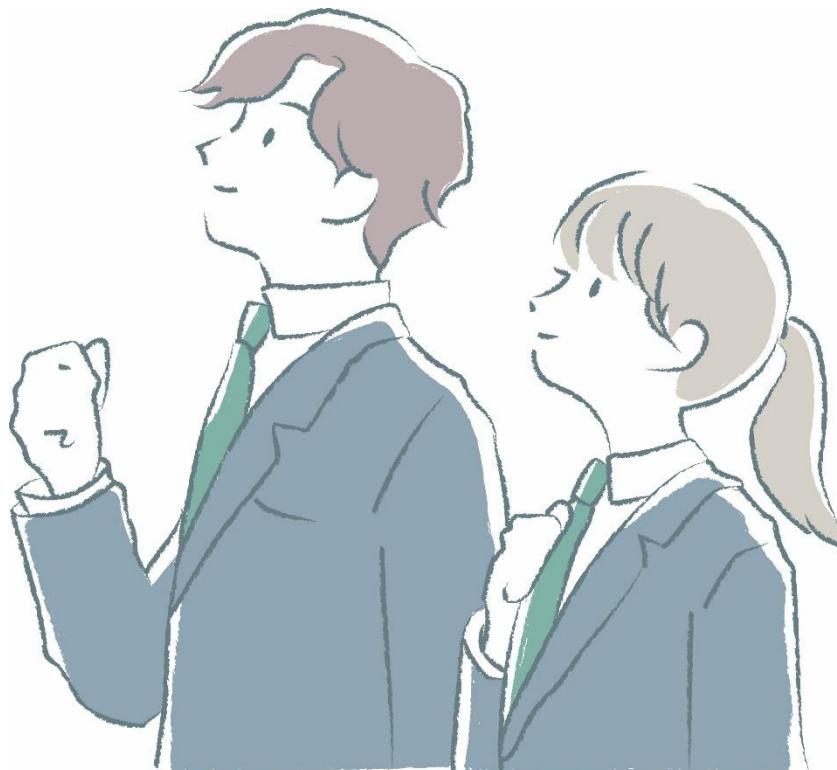


(令和7年度)

第2回 進路説明会 資料



令和7年10月23日（木）

ようがの学び舎

世田谷区立用賀中学校

3年 組 番氏名

目 次

1.	3年生後半の生活で心がけること	2
2.	都立高校入試について	
2-1	都立高校入学者選抜日程	3
2-2	来年度入試の主な変更点・継続点	4
2-3	選抜に基づく選抜	5
	本校の推薦・優遇条件	
2-4	学力検査に基づく選抜（1次・分割前期）	7
2-5	学力検査に基づく選抜（2次・分割後期）	9
2-6	学力検査の得点開示について	9
2-7	インフルエンザ等学校感染症罹患者等に対する追検査	10
3.	産業技術高等専門学校について	10
4.	私立高校入試について	
4-1.	私立推薦入試	11
4-2.	私立一般入試	12
5.	就職について	13
資料1	高校の具体的な受験条件をまとめよう	14
資料2	高校受検にあたっての届け出用紙（都立推薦）	15
資料3	高校受検にあたっての届け出用紙（私立推薦）	16
資料4	高校受験にあたっての届け出用紙（併願優遇）	17
資料5	進路関係書類作成のための個人資料例	18

1. 3年生後半の生活で心がけること

- 1 確かな学力をつける
 - ・目標をもって勉強に取り組む
 - ・学習計画の最後の調整をする
 - ・毎日の授業に真剣に取り組む
- 2 充実した中学校生活を送る→中学校での生活は、その後の生活につながっている！
 - ・自分の出番を進んで作る
 - ・自分の役割を果たす
 - ・よい人間関係をつくる
- 3 心身の健康管理をしっかり行う
 - ・規則正しい生活
 - ・バランスよい食事、睡眠時間の確保
 - ・適当な気分転換、休養
- 4 進路について考える
 - ・自分の将来について考える
 - ・自分の適性を知る
- 5 進路の情報を集める
 - ・説明会等に積極的に参加する
 - ・卒業生、先輩の話を聞いてみる
 - ・情報の分析・整理（うわさに惑わされない）

※ 保護者、先生の意見にも耳を傾けて、広い視野にたった進路選択をしよう。

- 6 志望先が決まったら必要な準備にとりかかろう
 - ・募集要項を熟読して必要な書類を確認し、準備する（12月までに）
 - ・出願から発表・手続きまでの日程や方法についてしっかり理解しておく

進路選択の最終決定は、生徒本人と保護者がするものです。したがって、今後はこれまで以上にご家庭で進路について、しっかり話し合いの機会をもつようにしましょう。もちろん、困ったことや心配なことがあつたら、先生達にも気軽に相談して下さい。

周囲の意見を参考に、実際に自分の目で確かめて、きちんと自分の未来を切り開いていきましょう。

2. 都立高校入試について

2-1 入学者選抜日程一覧

令和7年度 都立高等学校入学者選抜日程（高等学校全日制・定時制）

項目		願書受付	志願変更		学力検査等	合格発表	入学手続き
区分等			願書取下げ	願書再提出			
推薦に基づく選抜	・一般推薦 ・文化・スポーツ等 特別推薦 ・特別推薦 (理数)	出願サイト入力 12月19日(金) ~1月16日 (金)17:00 書類提出 1月9日(金) ~1月16日 (金)必着	志願変更はできない		1月26日 (月) 1月27日 (火)	2月2日(月) 8:30 (合否照会サイト上) 9:30 (校内掲示)	2月2日(月) 9:30~ 15:30 2月3日(火) 9:00~ 12:00
学力検査に基づく選抜	第一次募集	出願サイト入力 12月19日(金) ~2月5日(木) 17:00 書類提出 1月30日(金) ~2月5日(木) 必着	2月12日 (木) 9:00~ 15:00	2月13日 (金) 9:00~ 12:00	2月21日 (土) 集合 8:30	3月2日(月) 8:30 (合否照会サイト上) 9:30 (校内掲示)	3月2日(月) 9:30~ 15:30 3月3日(火) 9:00~ 12:00
	定時制	出願サイト入力 12月19日(金) ~2月5日(木) 書類提出 1月30日(金) ~2月5日(木) 必着	チャレンジスクール、八王子拓真(チャレンジ枠)及びグループAについて可能			3月2日(月) 8:30 (合否照会サイト上) 16:00 (校内掲示)	3月2日(月) 16:00~ 20:00 3月3日(火) 16:00~ 20:00
第二次募集 インフルエンザ罹患者などの追検査		持参 3月5日(木) 9:00~ 15:00	3月6日 (金) 9:00~ 15:00	3月9日 (月) 9:00~ 12:00	3月10日 (火) 集合8:30	3月13日 (金) 8:30 (合否照会サイト上) 12:00 (校内掲示)	3月13日 (金) 12:00~ 15:00 3月16日 (月) 9:00~ 12:00
定時制 二次募集		持参 3月23日 (月) 15:00~ 19:00	志願変更はできない			3月26日 (木) 各高校が定める時刻	3月27日 (金) 8:30 (合否照会サイト上) 15:00 (校内掲示)
							3月27日 (金) 15:00~ 19:00

注意：

推薦で合格した者及び第一次募集で合格した者は、その後いずれの都立高校(高専を含む)への出願、受検はできません。

2-2. 来年度入試の主な変更点・継続点

変更点

1 分割募集の廃止

昼夜間定時制課程の5校（一橋、浅草、荻窪、砂川、八王子拓真）ではこれまで通り分割募集を実施。

2 通信制課程では前期選抜と後期選抜の2回に分けて実施。

前期選抜は2月22日、後期選抜は4月上旬

継続点

1 追検査の実施

これまで同様、第一次募集の検査当日にインフルエンザなどで受検できなかった生徒に対する追検査が実施されますが、学校保健安全法第19条により中学校長が出席停止の措置を行った者の他、月経随伴症状、痴漢被害等受検者本人の責めによらず、やむを得ない入院等で受検できなかった者の中希望する者に対しても措置を行う。ただし、以下のような条件があります。

- ・追検査に出願した者は、全日制第二次募集に出願することはできない。
- ・追検査に出願した者は、志願変更をすることはできない。

2 男女合同選抜の実施

令和6年度の入試から男女合同で定めた募集人員に基づいて合格者を決定する男女合同選抜になりました。

3 ネット出願

これまで同様、全校がインターネットを活用し出願サイトを通じての出願となりましたが、来年度も同様にインターネット出願です。（第二次募集は例年通り持参です。願書は中学校で配布。）

→出願サイトへ登録後、ネット上で願書を作成。保護者のクレジットカードまたは銀行納付の場合は領収書のアップロードで払い込みを完了させる。

受検票はサイトを通じて交付（各自でプリントアウト。コンビニエンスストアなどでも可能）

3 中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）結果の活用

今年度も、第一次募集で英語学力検査を課す学校において活用します。

スピーキングテスト結果（評価）	A	B	C	D	E	F
都立高等学校入試での活用（点数化）	20点	16点	12点	8点	4点	0点

結果の点数は、次のとおり、学力検査の得点と調査書点の合計に加え、総合得点を算出する。

学力検査の得点	7 : 3	調査書点	スピーキングテスト結果
500点		65点	
100点×5教科		(5教科×5)+(4教科×5×2)	
↓		↓	↓
700点(換算後)	+	300点(換算後)	+
		20点	=
			1020点

2-3. 推薦に基づく選抜

1 推薦の種類

- ①一般推薦（全ての高校）
- ②文化・スポーツ等特別推薦（90校）
- ③理数等特別推薦（都立立川高校創造理数科）

2 定員（全て%以内）

普通科20%、コース20%、専門科30%（商業科20%、工業科50%）、総合学科30%。

3 出願

①志願する都立高校を第1志望とする生徒が出願できる。（国立や私立を含めて）

②一般推薦 両方に出願可能（ただし受験料は両方とも別に必要）

特別推薦（同時に志願する場合は、両方の内容を併せて、出願サイトに必要事項を入力する）

特別推薦（理数）

③一般推薦→1校1コース（又は1科）に限り出願可能。志願変更はできない。

* 2コース（又は2科）以上ある場合（芸術に関する学科は除く）→第2志望も選択可能。

4 出願手続 都の日程は12月19日（金）～1月16日（金）に、各自がネットで行うことになってい るが、用賀中では以下の通りの日程で手続きを行う。（予定）

①ネット登録：メールアドレス・IDの登録と受験写真のアップロードを行う。（12月19日（金）
から利用可能。志願校ごとのサイトにアクセスする。）

②ネット出願：2学期の面談後、受験の意思が決定したら、12月19日（金）～1月9日（金）に
各自ネットで出願（必要事項の入力）を行う。

③中学校の承認：入力事項が正しいことを中学校側が確認し、「承認」を行う。

④検定料納付：保護者のクレジットカードまたは銀行納付の場合は領収書のアップロードで払い込み
を完了させる。（③の「承認」がないと払込ができず、先へ進めないので注意！）

⑤必要書類の送付（中学校が行う）

一般推薦・特別推薦（理数）（必要書類）

- ・推薦書（中学校で作成）
- ・調査書（中学校で作成）
- ・自己PRカード（学校より配布し、家庭で記入。記入後中学校に提出）
- ・入学考查料（2,200円）（出願サイト上での納付。領収書の画像をサイトにアップロード）
- ・科学分野等の研究に関するレポート（A4判2枚以内、様式任意）※特別推薦（理数）のみ

特別推薦（文化・スポーツ等）

*一般推薦と文化・スポーツ等特別推薦を同時に受ける場合は併せてネットで出願する。

- ・文化・スポーツ等特別推薦書（中学校で作成）
- ・調査書（一般推薦と同時に志願するときは1部でよい。）
- ・自己PRカード（一般推薦と同時に志願するときは1部でよい。）

⑥受験票の印刷：1月23日（昨年度参考）以降、受験票が印刷できるようになるので、各自で印刷
し、試験当日各自で持参する。

5 選考 1月26日（月）、27日（火）

- ・調査書（観点項目・評定を点数化）…総合成績に占める調査書点の割合は50%以内
- ・自己PRカード
- ・面接（個人面接）*「集団討論」がある学校もあります。
- ・学校が設定する検査（小論文、作文、実技検査などのうち学校が決めた1つ以上）
の総合得点で判断。

6 合格発表 2月2日（月） 8:30 出願サイト掲載 9:30 校内掲示。

7 入学手続き 2月2日（月）・2月3日（火）

- ・期間内に「入学確認書」を必ず提出。納付期間内に入学料（全日制5,650円）を納付。
- ・推薦入学合格者は必ず手続きをとり、入学する。→その後、全ての学校の受験／受験は不可

8 本校の推薦・優遇条件

用賀中学校で推薦・優遇制度を希望できる生徒

（1）目的意識

志望校への教育理念や求められている生徒像を理解して、強い進学の意思を持っている。

（2）学習

意欲を持って授業に参加し、学習の向上、心身の向上に積極的に取り組んでいる。

（3）生活

中学校生活としての基本的な生活習慣やマナーを身につけ、「学校生活の決まり」を守った身なりや行動ができる。

（4）特別活動

学級活動（当番活動・係活動等）、生徒会活動（委員会活動等）、部活動、ボランティア活動等の諸活動に、熱心に、かつ継続的に取り組んでいる。

（5）継続

進路先においても上記（1）～（4）に当てはまる行動をとり努力を続けることができる。

（6）以下の事項に該当しない者

- ① 第3学年において、暴力行為、喫煙、万引き等の刑法等における処罰の対象となるような行為を行い指導を受けたが、改善する姿勢が見られない。
- ② 第3学年において、病気やケガなどのやむを得ない事情がある場合を除き、欠席や遅刻が著しく多い。
- ③ 「学校生活の決まり」を守らず以下のようない行為を繰り返し、指導を受けたが改善する姿勢が見られない。

授業離脱、授業妨害、暴言、器物破損、異装、菓子類飲食、その他の迷惑行為

○推薦希望は、家庭から学校に「都立高校推薦願（資料2）、私立高校推薦願（資料3）、私立高校併願優遇制度等の利用願（資料4）」を提出することによって明らかにされ、学校全体で協議し、校長名で推薦された後、推薦等入試の受検が可能になります。

2-4. 学力検査に基づく選抜 [第一次募集]

中学校卒業予定者や卒業者を対象とし、学力検査、調査書、実技点等を総合して選抜。

推薦で合格した者は、出願することはできない。

1 入学者選抜方法の改善を実施する高校

① 学力検査問題を自校作成する高校（10校+国際高校の英語）

●自校で作成した問題（国数英3科）と都立共通問題（社理）で実施

日比谷、戸山、青山、西、八王子東、立川、国立

新宿、墨田川、国分寺、※国際（自校作成問題は英語のみ。他4科は都立共通問題）

●自校で作成した問題で実施

農産・八王子拓真（一般枠）

② 学力検査は実施せず、面接と小論文（または作文）を実施する高校（14校）

エンカレッジ（面接+小論文）蒲田など

チャレンジ（面接+作文）大江戸、世田谷泉、六本木など

2 出願手続 都の日程は12月19日（金）～2月5日（木）に各自がネットで行うことになっているが、用賀中では以下の通りの日程で手続きを行う。（予定）

①ネット登録：メールアドレス・IDの登録と受検写真のアップロードを行う。（12月19日（金）から利用可能。志望校ごとのサイトにアクセスする。）

②ネット出願：1 推薦受検しない場合=2学期の面談後、受検の意思が決定したら、12月19日（金）～1月27日（火）に各自ネット出願（必要事項の入力）を行う。
2 推薦受検した場合=発表日の2月2日（月）にネット出願を行う。

●1校1コース（又は1科）に限り出願可。

* 2コース（又は2科）以上ある場合→第2希望以下も書いて出願することができる。

例 総合工科 第1=機械・自動車 第2=電気・情報デザイン 第3=建築・都市工学 など

③中学校の承認：入力事項が正しいことを中学校側が確認し、「承認」を行う。

④検定料納付：保護者のクレジットカードまたは銀行納付の場合は領収書のアップロードで払い込みを完了させる。全日制は2,200円 * 定時制は950円

（③の「承認」がないと払込ができず、先へ進めないので注意！）

⑤必要書類の送付（中学校が行う）

・調査書（中学校で作成）←中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）の結果も記入されている
・自己PRカード（面接がある場合のみ：面接がない場合は入学関係書類提出日に提出する）

⑥受検票の印刷：2月16（昨年度参考）日以降、受検票が印刷できるようになるので、各自で印刷し、試験当日各自で持参する。

3 志願変更 2月12日（木）取り下げ、2月13日（金）再提出

・願書提出後（発表された倍率などを見てから）1回に限り志願の変更可能。

●志願変更届を提出する際には、生徒手帳や身分証明書など、本人確認できるものを提示。

保護者が提出する場合は、保護者の本人確認ができるもの及び受検者との関係を証明するもの（住民票の写しなど）を提示すること。

★一度取り下げると、元の志望校には戻せない。また再提出により、再び倍率変動が予想されるので注意。

4 学力検査等の実施 2月21日（土）

・学力検査：以下の学校を除いて、国語、数学、英語、社会、理科の5教科を各高校で実施。

3教科の高校=芸術及び体育に関する学科

・面接、作文、実技考査など：各高校による。

・傾斜配点：特定の教科に比重をかける。例 国際高校=英語のみ2倍

5 選考

・学力検査、調査書、（実技、小論文、作文、面接等）の総合成績で選考。

・学力検査：調査書の比重は、以下の高校を除いて7:3。

6:4の高校 = 芸術及び体育に関する学科、※定時制はどちらかとなる。

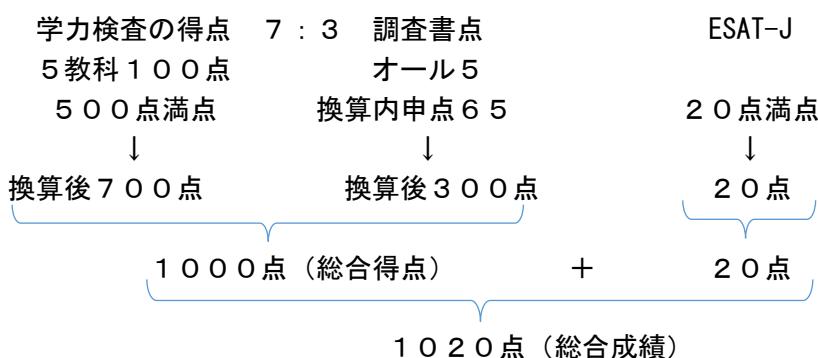
・点数化したスピーキングテスト（英語の学力検査を実施する都立高校のみ）

- 6 合格発表 3月2日(月) (全日制) 8:30 ウェブサイト掲載 9:30 校内掲示
 (定時制) 8:30 ウェブサイト掲載 16:00 校内掲示
- 7 入学手続き 3月2日(月)・3月3日(火)
 ・期間内に「入学確認書」を必ず提出。入学料(全日制5,650円、定時制2,100円)を納入。
- 8 調査書の点数化について

区分	学力検査を実施する教科	学力検査を実施しない教科	満点
ア 学力検査を5教科で実施する ほとんど全ての都立高校	評定数値は1倍する (国・数・英・社・理)	評定数値は2倍する (音・美・保・技家)	25+40=65点
イ 学力検査を3教科で実施する 都立高校 ※表下部	評定数値は1倍する (国・数・英)	評定数値は2倍する (社・理・音・美・保・技家)	15+60=75点
ウ エンカレッジスクールとして指定された都立高校=学力検査に代えて面接・作文を実施する。			

※総合芸術(芸術科)、駒場高校(体育科)、野津田高校(体育科)のみ

例 5教科、傾斜配点を行わず、学力検査と調査書の比重を7:3とする場合



【学力検査点と調査書点の計算方法】

A 9月実力テストの結果・・・5科 → A
 B 換算内申

国語	数学	英語	社会	理科
音楽	美術	体育	技家	

$$\times 1 = \boxed{}$$

$$\times 2 = \boxed{}$$

↓
 B

(学力得点)	(学力検査の比率)	(換算内申)	(調査書点の比率)
↓	↓	↓	↓
A <input type="text"/>	$\times \frac{700}{500}$	+ B <input type="text"/>	$\times \frac{300}{65}$
(学力得点の上限点)		(換算内申の上限点)	

A に実力テスト等の自分の得点、B に1学期の成績から計算した換算内申を入れてみよう。

2-5. 学力検査に基づく選抜 [第二次募集]

1 募集

二次募集=一次募集の結果定員に達していない、全日制、定時制高校

*すでにいざれかの高校に手続きが済んでいる生徒は出願できない。

2 出願

・3月5日（木）午前9時から午後3時 定時制は午後3時から午後7時（定時制出願は郵送）

※1校1コース（又は1科）に限り出願。

※2コース（又は2科）以上ある場合→第2希望以下も書いて出願することができる。

・インターネット出願は行わないため、出願に要する書類等の提出は全て紙で行い、納付書は納付後、入学願書の裏面に貼り付ける。

3 出願手続き

・調査書 ・入学願書（・自己PRカード）・入学検査料（2,200円）定時制は950円 他

4 志願変更

・3月6日（金）取り下げ、3月9日（月）再提出

・願書提出後（発表された倍率などを見てから）1回に限り変更可（変更条件は第一次募集と同じ）

5 学力検査等の実施

・3月10日（火）①学力検査：国語、数学、英語の3教科。

②面接等その他の検査の実施は各高校で定める。

6 選考

・学力検査（3教科）、調査書、面接等の総合成績（1000点満点～）で選考。

・学力検査：調査書の比重 全日制=6:4（定時制=6:4または5:5）

7 合格発表

・3月13日（金） 8:30 ウェブサイト掲載 12:00 校内掲示

8 入学手続き

・3月13日（金）・3月16日（月）

・期間内に「入学確認書」を必ず提出。入学料（全日制5,650円、定時制2,100円）を納入。

2-6. 学力検査の得点開示

不合格者は手続き終了の翌日から請求できるが、合格者は入学してから請求することになる。

※窓口ではなく電子申請による請求も可能。

＜不合格者の場合＞

①本人（または保護者）が成績を受け取る場合

1) 請求（各自が受検した高校で行う）

入学手続き締め切り日の翌日（推薦・一次=3月4日（水）以降、二次=3月17日

（火）以降）に、①開示請求書に記入し提出。②受検票や身分確認書（生徒手帳など）を提示

※保護者の請求の場合、受検票と保護者の本人確認ができるものの両方を提示

2) 成績の交付・受け取り（各自が高校で行う）

推薦・一次試験の結果…3月16日（月）以降。

二次（後期）試験の結果………3月24日（火）以降。

受検票、本人確認書類を提示して開示を受けることができる。

*交付日から3か月が交付期限となる。

*その高校に合格した人は、高校入学後の5月1日（金）以降に開示請求の受付が開始となるので注意！

②中学校が各個人の成績を知る場合 = 生徒の「同意署名」が必要

1) 請求=同意（中学校が指導し、各自が行う）

出願時、個人情報の提供にチェックを入れ、同意する。

2) 成績の交付

高校側から直接中学校にデータが送られてくる。

*データの扱いについては、個人情報の観点から十分注意して活用します。

2-7. インフルエンザ等学校感染症罹患者等に対する追検査

- 1 資格 第一次募集の検査日当日に罹患者等となった者で、出願した都立高校を受検することができなかった者のうち、追検査措置を申請し、その高校から承認を受けた人。
- 2 募集 「令和8年度都立高等学校第一学年生徒募集人員」に定める。なお、追試験の措置の申請がなかった都立高校では実施されない。
- 3 出願 必要な書類：追検査用願書、罹患を証明する書類（医療機関の証明書または校長が出席停止を証明する書類＝様式は任意）
方法：申請をした都立高校のうち、第一次募集において第一志望とした科（分野）又は部に限り出願することができる。出願した者は、二次に出願することはできない。二次に出願した者は追検査に出願することはできない。
出願日時：3月5日（木）午前9時から午後3時
二次・分割と同日程。郵送による出願は受け付けない（定時制を除く）。
- 4 学力検査等の実施 3月10日（火）
①学力検査：国語、数学、英語の3教科。（検査問題は、分割後期・二次で使用するものと同一のもの）
②学校設定検査：面接（社理の内容を含む）・小論文または作文。※実施する学校のみ
- 5 選考 ①学力検査点＝学力検査（3教科）+学校設定検査
・学力検査：調査書の比重 全日制＝7：3（芸術、体育は6：4）
定時制＝7：3または6：4（第一次・前期とは異なる）
②調査書点
- 6 合格発表 3月13日（金） 8：30（ウェブサイト上） 12：00（校内掲示）
- 7 入学手続き 3月13日（金） 12：00～15：00 3月16日（月） 9：00～12：00

3. 産業技術高等専門学校について

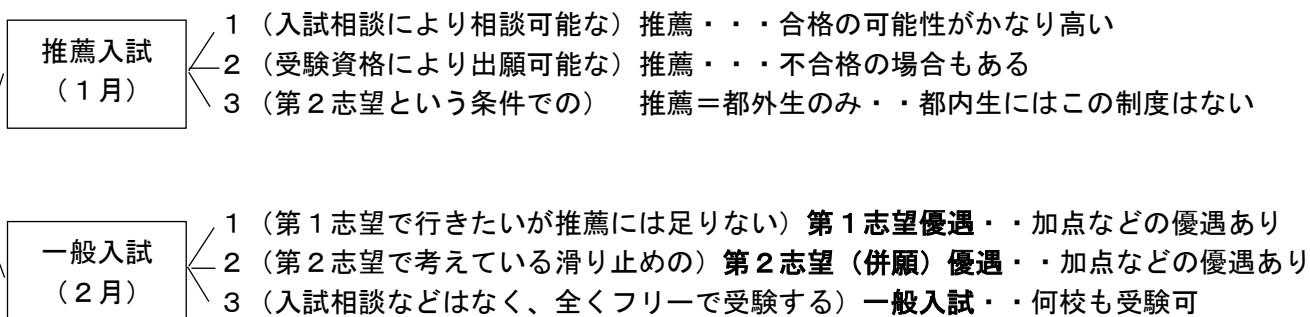
東京都立産業技術高等専門学校（いわゆる都立高専、5年制）は、平成20年度より東京都教育委員会から東京都公立大学法人に移管され、独自の入試形態で行われている。推薦入試は都立と同日のため併願できないが、一般は都立一次と日程が異なるため併願が可能。

	推薦に基づく選抜	学力検査に基づく選抜（一次募集）
願書受付日	1月9日（金）～16日（金）	1月30日（金）～2月5日（木）
入試日	1月27日（火）	2月13日（金）
合格発表日	2月2日（月）	2月19日（木）

4. 私立高校の入試選抜について

私立高校は独自の理念を持ち、それをもとに運営されている。そのため選抜方法は学校ごとに異なり、よく調べてから受験に臨む必要がある。12月15日から行われる入試相談（中学校教員が高校側と行う相談）では推薦、併願優遇等、色々な基準に基づいて相談が行われるので、12月の面談前までには自分の受験パターンをしっかりと考えておく必要がある。

私立入試制度の例



4-1. 推薦入試

1 推薦基準・条件

ほとんどの高校は、内申点で推薦入試を受ける基準を設けている。また、その学校独自の条件を付け加えているところも多くみられる。12月の私立入試相談において相談し、ある程度の可能性を示されなければならないところが多い。ただし、入試相談は合格を保証したものではない。また、入試相談を必要としない高校もある。志望する学校の制度をしっかりと理解しておく必要がある。

*都立の項目 p. 6 同様、用賀中の推薦基準を満たし、かつ志望する高校の基準や条件を満たした生徒が、推薦入試に出願できる。

高校の推薦基準にあがる項目

- a. 成績に関するもの。内申の基準(9科の素内申が〇〇以上など)がある場合がほとんど。)
- b. 人物に関するもの。
- c. 日頃の学習活動・態度に関するもの。
- d. 健康状態の良い者。欠席・遅刻等の日数。
- e. 生徒会活動、委員会活動、部活動など。
- f. 英検準2級などの資格。・募集人員は定員の50%以内。

- ・推薦入試で第1希望で合格した場合は必ずその学校に入学し、他を受験することはできない。
- ・推薦入試で適性試験を行い、不合格となる場合もある。
- ・推薦入試で不合格になった場合でも、一般入試を受験することはできる。

2 願書受付 每年1月15日以降

日程は高校により異なるので各自でしっかりと確認を。
最近はWeb出願が主流。

3 選考期日 每年1月22日以降

4 選考方法 中学校長の推薦書、調査書、面接、作文、実技、適性検査 等

・面接の形態は個人、グループ、親子と様々。人物、志望の動機、学習意欲などが見られる。

当日の選考は「面接のみ」という学校が多く、どの学校も面接は大変重視している。

5 発表 1月22日以降

6 手 続 き 各高校の定める期日

7. 推薦入試に向けての手順

- ①「進路希望調査」で推薦希望確認 12月三者面談で出願校の決定
- ②「推薦願」(資料3)提出
- ③校内で検討 → 学校長の決定
- ④私立高校との入試相談(12月15日～) → 推薦受験資格の有無を確認
- ⑤出願・受験

入試相談はその学校を受験・入学することを前提に行うものなので、入試相談後、志望の変更はできません。推薦入試にあたっては、ご家庭での十分な話し合いが必須です。

4 — 2. — 舟入式

一般入試とは学科試験を伴う受験のこと。選抜方法は学校によって様々。志望する学校の説明会等に参加し、選抜方法、制度の趣旨等を充分に理解しておくことが必要。

1 一般受験の方法

A. 高校側との入試相談を必要とする受験

受験までの手順は推薦受験と同じ。この場合も入試相談後、志望の変更はできないので、慎重に検討する必要がある。

①「第一志望優遇」制度

その学校を第1志望とし、試験に合格したら必ず入学することを条件に優遇される制度。

内申の基準があることが多く、入試点のプラス等の優遇があるが、不合格になることもある。

②「第二志望（併願）優遇」制度

都立高校や、他の私立高校を第1志望にして一般受験する生徒に対して、その高校が不合格になつた場合、必ず入学することを条件に優遇する制度。

B. 高校側との入試相談が必要ない受験

③「一般試験」：受験に際して条件・基準がないかわりに優遇措置もない、いわゆる「フリー受験」。日程が重ならなければ、何校でも受験できる。

2 願書提出 每年1月25日以降

3 受験日 每年2月10日～12日の3日間に集中。

※10日を設定している学校が多いので、慎重に選ぶ必要がある。

4 試験科目

・ほとんどの学校が国語・数学・英語の3教科。
音楽科や美術科などでは実技試験、英語を重視している学校ではリスニングを実施する学校もある。

・面接は多くの学校で実施。形態は個人・グループ・親子と様々。人物、志望の動機、学習意欲などがみられる。

5 発表・手続き 各高校によって異なるので、学校ごとによく調べておく必要がある。

★特に手続きの期限、「延納」の有無、「延納」手続きの方法等については充分に注意すること。

6 一般入試（併願優遇を利用する場合）に向けての手順

①「進路希望調査」で併願優遇希望確認 12月三者面談で出願校の決定

②「私立併願制度利用願」（資料4）

③校内で確認 → 学校長の決定

④私立高校との入試相談（12月15日～） → 併願優遇資格の有無を確認

⑤出願・受験（2月の試験を受ける）

7 説明会、個別相談会、学校訪問について

・10月から12月にかけて、生徒や保護者対象の説明会を行っている学校が多い。また学校説明会や個別相談会参加を推薦入試の条件にしている学校もあるので、特に推薦を希望する場合には早めに参加した方がよい。

・第2志望であっても、そこに入学する可能性のある学校なので、必ず説明会に参加して、十分に検討して、納得して選ぶことが大切。

5. 就業について

生徒の多くがいずれ職に就きます。中学校を卒業して就職する場合は、進学する人より一步先に社会人になります。報酬を受けることや、働くことによる技術の習得など喜びも多いことでしょうが、現実には苦しいことつらいこともあります。中学卒業者の一年間の離職率が30~40%以上にのぼるのも、その現実を物語っています。また、厳しい不況を反映してここ数年は、たいへん厳しい状況が続いています。しかしたとえ進学するにしても各自が、働くことの意義とともに、厳しい現実も直視し、自分の適性や将来の計画も考慮しながら、先を見通すことが大切です。

(1) 自分にあった職業を選ぶために…自己分析・職業分析をしっかりと。

具体的検討事項例

- | | | | | | | | |
|------------|---|---|---------------------|---------|---|---|-----------------|
| ①労働条件 | … | … | 賃金や労働時間 | ②職種 | … | … | 仕事の内容 |
| ③資格 | … | … | 能力や技能 | ④将来の見通し | … | … | 独立の可能性、昇級や昇進 |
| ⑤自分自身のこと | … | … | 能力や体力や希望 | ⑥加入保険 | … | … | 健康保険、厚生年金、雇用保険等 |
| ⑦働きながら学ぶ方法 | … | … | 法定時制や通信高校に通学できるかどうか | | | | |

(2) 就職するには

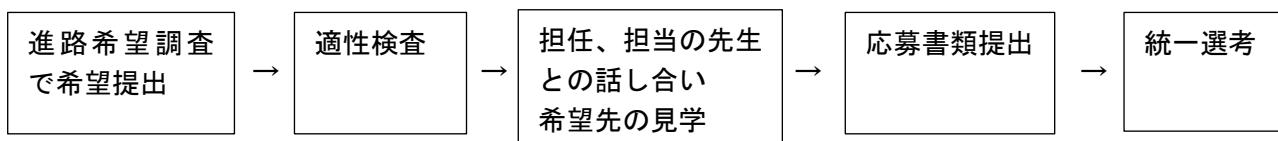
① 職業安定所（ハローワーク）の紹介による場合

2学期になるとそれぞれの事業所から求人要項がでます。希望のある人は、担任の先生や進路担当の先生と相談して決めていきます。場合によっては先生と一緒に事業所を見に行き、実際に目で確かめて話を聞くことが必要です。

② 縁故による場合

この場合も、必ず担任や担当の先生と連絡を取り合ってください。縁故就職はとくに雇用関係や身分の保証についてあいまいになる場合が多いので、注意が必要です。知り合いの紹介で就職する場合にも、学校と職業安定所を通すようにしましょう。

③ 就職決定までの手順



* 希望は早めに

1月1日～

1月10日～

(3) 就職の準備

- ①学業のしめくくりのつもりでしっかりと。
- ②好ましくない習慣や癖、社会人として望ましくないことは、1日も早く直すように心がけましょう。
- ③言葉遣い、礼儀作法を身についたものにしましょう。
- ④自分の考えを保護者、先生、安定所の係とよく相談しましょう。

(4) その他

①企業内訓練校

会社の中の養成制度で、普通3年間教育を受けます。高校卒の資格が得られ、将来その会社に就職します。

②東京都立職業能力開発センター

東京都には13校（昨年度）の職業能力開発センターがあり、職業訓練・キャリアアップ支援を行っています。

《資料1》

高校の具体的な受験条件をまとめよう

(1) 都立高校

高校	受検方法	科・コース	面接点	作文小論文	実技など	最寄り駅	合否の目安
	推薦・一般		点	点			
	推薦・一般		点	点			
	推薦・一般		点	点			
	推薦・一般		点	点			
	推薦・一般		点	点			

(2) 私立高校

高校	受験方法	願書締切	受験日	発表	手続き	延納	中学校に依頼が必要な書類	最寄り駅	合否の目安
	推薦・一般						公立・指定		
	推薦・一般						公立・指定		
	推薦・一般						公立・指定		
	推薦・一般						公立・指定		
	推薦・一般						公立・指定		
	推薦・一般						公立・指定		
	推薦・一般						公立・指定		

世田谷区立用賀中学校長
毛利慎治様

都立高等学校 推薦願（誓約書）

私は以下の都立高等学校を第一志望としており、推薦による受検を希望いたしますので、承認をお願いします。この制度の利用にあたっては、その趣旨を理解し下記の事項を遵守いたします。

高等学校名	東京都立_____	高等学校
	_____科	コース
志望理由		

文化・スポーツ等特別推薦 理数等特別推薦

志望する種目等		
志望するコース・科（分野）・部	コース・科（分野）・部	

一般推薦

第1志望	コース 科（分野） 部	第2志望	コース 科（分野） 部
------	-------------------	------	-------------------

注意
・希望する推薦制度の□内にチェック□を入れ、必要事項を記入してください。
・コース・科（分野）・部には○をつけ、名称を正しく記入してください。
・第2志望がない場合には、第2志望の欄に「なし」と記入してください。

<誓約事項>

- 都立高等学校推薦制度の目的や出願の条件を理解し、今後も推薦されるにふさわしい者であるという意識を高くもって生活いたします。
- 用賀中学校の学校生活の決まりを守り、今後も学習面や生活面において、真面目に努力いたします。また、校長による推薦で進学する生徒であるという自覚をもって、今後も生活をしていきます。
- 学習や生活面での気の緩みによる乱れや、進路未決定の生徒に対して配慮に欠ける行動があった場合、またその他推薦の条件に異なる事情が発生した場合は、推薦を取り消されても異存ありません。
- 申請後は、この出願を取り下げるこや変更することは致しません。
- 受検の結果、当該の高等学校に合格した場合は、定められた期日までに入学手続きを行い、必ず進学いたします。合格の辞退は致しません。

令和_____年_____月_____日

3年_____組_____番 生徒氏名_____

生年月日 平成_____（西暦_____）年_____月_____日生

保護者名_____印

※推薦の可否については、校内推薦委員会で審査後、校長が最終判断をします。

三者面談の翌日（12月_____日）提出

世田谷区立用賀中学校長
毛利慎治様

私立高等学校 推薦願（誓約書）

私は以下の私立高等学校を第一志望としており、受験に際して推薦制度（注）の利用を希望いたしますので、承認をお願いします。この制度の利用にあたっては、その趣旨を理解し下記の事項を遵守いたします。

（注）ここでいう推薦制度には、中学校長からの推薦書を必要としなくとも、「第一志望優遇」等の呼称で中学校と私立高等学校との間において入試相談等のやりとりを行った上、合格をした場合は必ずその高等学校に進学することを前提とする制度全般も含みます。

高等学校名	_____高等学校 _____科 _____コース		
利用制度	推薦	第一志望優遇	その他（ ）
志望理由	_____		

＜誓約事項＞

- 当該校の推薦制度の条件を理解し、今後も厳守するとともに、推薦されるにふさわしい者であるという意識を高くもって生活いたします。
- 用賀中学校の学校生活の決まりを守り、今後も学習面や生活面において、真面目に努力いたします。また、校長による推薦で進学する生徒であるという自覚をもって、今後も生活をしていきます。
- 学習や生活面での気の緩みによる乱れや、進路未決定の生徒に対して配慮に欠ける行動があった場合、またその他推薦の条件に異なる事情が発生した場合は、推薦を取り消されても異存ありません。
- 中学校と当該校との間で入試相談等のやりとりが行われる場合、当該の私立高等学校が推薦による受験を受理内諾した後は、この申請を取り下げるこや変更することは致しません。
- 受験の結果、当該の高等学校に合格した場合は、定められた期日までに入学手続きを行い、必ず進学いたします。合格の辞退は致しません。

令和_____年_____月_____日

3年_____組_____番 生徒氏名_____

生年月日 平成_____（西暦_____）年_____月_____日生

保護者名_____印

※推薦の可否については、校内推薦委員会で審査後、校長が最終判断をします。

三者面談の翌日（12月_____日）提出

世田谷区立用賀中学校長
毛利慎治様

私立高等学校 併願優遇制度等の利用願（誓約書）

私は以下の私立高等学校を受験するにあたり、併願優遇制度（注）の利用を希望いたしますので、承認をお願いします。この制度の利用にあたっては、その趣旨を理解し下記の事項を遵守いたします。

（注）ここでいう併願優遇制度には、「B方式」等の呼称で、中学校と私立高等学校との間において入試相談等のやりとりを行った上、何らかの優遇措置を与えられて受験する制度全般を含みます。

併願優遇制度利用校	_____	高等学校
	_____科	コース
志望理由		
第一志望とする 高等学校	立	高等学校
	_____科	コース

＜誓約事項＞

- 1 当該校の併願優遇制度の趣旨・条件を理解し、厳守いたします。
- 2 中学校との当該校による入試相談の結果、併願優遇による受験が受理・内諾された場合は、以後併願優遇制度の取り下げや変更は行いません。
- 3 用賀中学校の学校生活の決まりを守り、今後も学習面や生活面において、真面目に努力いたします。また、併願優遇制度を利用して受験する生徒であるという自覚をもって、今後も生活をしていきます。
- 4 今後併願優遇制度の条件に異なる事情が発生した場合、併願優遇制度を利用した受験ができなくなつても異存ありません。進路未決定の生徒に対して配慮しながら、最後まで気を緩めず真面目に学習や学校生活を送ります。
- 5 当該校に合格したときには、指定期日までに必要な手続きを行います。
- 6 併願優遇制度を利用する高等学校の基準に則り、他に受験（検）を認められた高等学校以外は受験（検）いたしません。
- 7 指定される期日までに、併願優遇制度を利用する高等学校以外に受験（検）した高等学校がすべて不合格となった場合、併願優遇制度を利用した高等学校に進学いたします。
- 8 都立高等学校を第一志望とする場合、第一次募集・分割前期募集の高等学校に不合格となつた場合は、以後都立高等学校の第二次募集・分割後期募集には出願・受験いたしません。

令和_____年_____月_____日

3年_____組_____番 生徒氏名_____

生年月日 平成_____（西暦_____）年_____月_____日生

保護者名_____ 印_____

三者面談の翌日（12月_____日）提出

世田谷区立用賀中学校

進路関係書類作成のための個人資料

この資料は学校が調査書や推薦書を作成するにあたり参考とするものであります。以下の注意点を確認の上、期日までに提出してください。

共通の注意点

- ①黒のボールペンで記入すること。(消せるもの)は×。まちがえないように注意して記入する。万が一、まちがえた場合は二重線で消し、近くに書き直すこと。)
- ②保護者記入欄の場所、生徒記入欄の指定の場所をまちがえないこと。
- ③全て記入欄に必ず保護者に確認してもらい、署名と印を押してもらうこと。
- ④提出期限:遵守すること。

1 学籍の記録 (住民票記載事項の確認)

氏名	立	月	年	令和	中学校より転入
生年月日	平成 年 (西暦)	月	日生		
現住所	〒 東京都 区				
電話番号					
保護者氏名					

※必ず楷書で記入する。特に「点」や「[]」には注意してください。

※氏名の文字は氏名欄に記載されているものを使用してください。ただし、その文字が常用漢字表の場合は、常用する漢字で代用することも可能です。その場合、今後高校に提出する全ての書類(履歴書、入学手続書類など)には全てその字を使用することになります。例:齊一齊 逸一逸 等などと記載されている場合は、

※由田(11丁目2番3号 小島ハイム4567号)などと記載されています。

「1-2-3-4567」でもかまいません。

2 行動の記録に関する自己評価

項目	良い	普通	努力	良い点について 具体的に記入	項目	良い	普通	努力	良い点について 具体的に記入
基本的な生活習慣					思ひやり・ 協力				
健康・体力の向上					生命尊重・ 自然愛護				
自主・自立					勤労・奉仕				
責任感					公正・公平				
創造工夫					公共心・ 公意心				

※自分でしての考え方を基に該当する欄に○をつけ、良い点を具体的に記してください。

3 特別活動などの記録

<生徒記入・保護者確認>

項目	前期	1年	後期	前期	2年	後期	前期	3年	後期
学級活動									
学級の保健や栄養									
生徒会活動									
(委員会名・役職)									
行事活動									
各種の実習委員 講師・伴導									
部活動 (役職)									
入賞・表彰の実績 (具体的な)									
取組した資格 英検・漢検など									
ボランティアや 学校外での活動 の実績 (実績)									

※1・2年は通知表、私の通知表などを見て抜け落さないよう記入してください。

※部長、委員長、係長など役職も忘げず記入してください。

※入賞、表彰は大会名、コンクール名、入賞名、順位などを正しく記入してください。

4 出欠席の状況

<生徒記入・保護者確認>

年	授業日数	出欠記入	遅き	欠席	出席	退刻	早退	欠席等の主な理由
1年								
2年								
3年								

※詳細な数字は学校で確認しますが、欠席や退刻等ある場合は主な理由を必ず記入する。

<生徒記入・保護者確認>

①								
②								
③								
④								
⑤								
⑥								

※3 特別活動などの記録より遙んで記入してください。内容により学校で調整する場合もあります

<生徒記入・保護者確認>

年	月	日	年	月	日	年	月	日
提出期限	12	月	16	日	(火)	朝学活競	年	月

※各家庭でこの用紙の控え(スキャン、コピー等)を残しておくことをお勧めします。